

道徳だより

能美市立寺井中学校 令和元年 5月13日(月) NO. 1

令和元年度が始まり約1か月が過ぎました。4月は3年生の修学旅行、先週は2年生の金沢見て歩き、とそれぞれの学年の最初の行事を無事に終えることができました。1年生は寺井見て歩きに向けて準備を進めている最中です。またどの学年も今月末の中間テストに向けて、毎日の授業を頑張っています。

さて、今年度も「道徳の時間ってどんなことを学習しているの?」「その学習が学校生活にどうつながっていくの?」などの疑問にお答えできるよう、また、各学年の授業の取り組みを学級・学年を超えて知ることができるよう「道徳だより」を発行します。そして「道徳だより」を通して学校と家庭の連携を図りながら、子どもたちの道徳性を育てていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◆道徳の時間では、どんなことを学習しているのでしょうか?

道徳の内容は、全学年、以下の4つの視点があります。各視点について資料をもとにしながら、1年間でまんべんなく学習するように計画しています。

- A. 主として自分自身に関すること(節度、節制、強い意志、自主自律、自由と責任、向上心 など)
- B. 主として人とのかかわりに関すること(礼儀、思いやり、感謝、友情、信頼 など)
- C. 主として集団や社会とのかかわりに関すること(遵法精神、公德心、勤労、家族愛、郷土愛 など)
- D. 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(生命の尊さ、畏敬の念、生きる喜びなど)

これらの内容は学校だけではなく、それぞれのご家庭でも大事されているものと思います。今後も学校と家庭で意識を高めていけたらと思います。

◆「特別の教科 道徳」の評価について

本年度より道徳は、「特別の教科」として位置づけられ、道徳の授業を通して何をどう学んだのかを通知表に文章で記述します。生徒が自分自身のよさや成長を実感し、意欲の向上につながるような評価を行っていきます。そのために、生徒同士が互いに意見を出し合い、考え合う、そして自分を見つめる時間となるような授業づくりに取り組んでいきます。

◆こんな授業をしました! ~ 4月19日(金)に行われた授業参観の様子 ~

今年度の授業参観も、全校一斉に道徳の授業を行いました。それぞれの学年の授業を紹介します。どの学年も真剣に意見を出し合い、友達と考えを交流していました。授業の途中では、保護者の方々にもご意見を伺ったクラスもありました。ご協力ありがとうございました。

◇1年生の実践

福沢諭吉「心訓」A-(5)理想の実現

福沢諭吉の「心訓」を題材に生徒みんなの心訓を考えました。少し難しいテーマかとも思いましたが、これまで経験してきたことを振り返りながら、すばらしい意見をたくさん発表してくれました。是非、ご家族でまた話し合ってみてください。



福沢諭吉の「心訓」



- 一、世の中で一番楽しく立派なことは、生涯を貫く仕事を持つということです。
- 一、世の中で一番みじめなことは、人間として教養のないことです。
- 一、世の中で一番さびしいことは、する仕事のないことです。
- 一、世の中で一番みにくい事は、他人の生活をうらやむことです
- 一、世の中で一番尊い事は、人のために奉仕し決して恩に着せないことです
- 一、世の中で一番美しい事は、すべてのものに愛情を持つことです。
- 一、世の中で一番悲しい事は、「うそ」をつくことです。

みんなの「心訓」 (一部抜粋)

- 一、世の中で一番楽しく立派な事は、〇〇です。
 - ・自分らしく生きること
 - ・仕事をする事
 - ・元気であること
 - ・自分の目標を達成すること
 - ・努力すること
 - ・人を助けること
 - ・今生きていられること
 - ・いつまでも夢を追い続けること
- 一、世の中で一番みじめな事は、〇〇です。
 - ・うそをつくこと
 - ・差別やいじめがあること
 - ・戦争があること
 - ・自分が役に立てないこと
 - ・仕事をしないこと
 - ・悪口を言うこと
 - ・人を下に見ること
 - ・人を笑うこと
- 一、世の中で一番さびしい事は、〇〇です。
 - ・誰も見方がいないこと
 - ・一人で生きていくこと
 - ・友達がいなくなる事
 - ・友達に信じてもらえないこと
 - ・桜が散ること
 - ・友達がいないこと
 - ・一人ぼっち
- 一、世の中で一番みにくい事は、〇〇です。
 - ・他人の気持ちを理解できないこと
 - ・罪を犯すこと
 - ・世界の貧しい国を助けてあげられないこと
 - ・人をいじめること
 - ・相手を見下すこと
 - ・自分だけよければいいと考えること
- 一、世の中で一番尊い事は、〇〇です。
 - ・夢が叶うこと
 - ・勇気ある行動
 - ・命があること
 - ・友達を信頼すること
 - ・神を信じる事
 - ・家族と一緒にいられること
- 一、世の中で一番美しい事は、〇〇です。
 - ・お互いに協力すること
 - ・人助けをする事
 - ・平和であること
 - ・努力すること
 - ・友達がいること
 - ・自分の限界を超えること
 - ・自分から進んで何でもできること
- 一、世の中で一番悲しい事は、〇〇です。
 - ・自分から命を絶つこと
 - ・大事な人(家族や友だち)がいなくなる事
 - ・人が殺されること
 - ・裏切られること
 - ・何もかも失うこと
 - ・仲間はずれにされること
 - ・戦争があること

【生徒の感想】

- ・色んな考えがあって、人それぞれ思うことが違っても、たくさん答えがあるんだと思った。私もみじめなことをせず、立派なことをたくさん見つけて気をつけていきたいです。
- ・勉強するのは面倒くさいなと思うときもあるけど、する仕事がないのはさみしいことだと気づけたので良かったです。
- ・心の教を学んで、これからはこのことを守っていこうと思いました。自分で心の教を作りたいと思いました。自分勝手な人には絶対なりたくないと思いました。
- ・世の中には色々な嫌なことうれしいことがあるのだと分かりました。これからは自分がさびしいと思ったことは友達にせず、自分がうれしいと思うことや楽しいと思うことを友達にしようと思いました。
- ・心訓の勉強をして、心をこれからももっと育てていきたいです。将来、心がもっと育って、いい人になるようにしたいです。
- ・一人ひとり世の中で一番楽しいこと、みじめなことたくさんあって、福沢諭吉さんの言ったこともあっていいけど、自分の考えも持っていきたいです。

→ 裏面へ続く

◇2年生の実践

「今日の主演」 ～東京ディズニーランド カストーディアルの精神～ C-(13) 勤労の尊さ

ディズニーランドでそうじ係として働く「カストーディアル」にまつわるお話を通して、仕事に向き合う姿勢などについて考えました。楽しみながら掃除をするアメリカのカストーディアルの姿や、その姿に影響されて掃除への考え方が変わっていく日本の若いカストーディアルの姿から、仕事について考えさせられることは多かったようです。自分たちの掃除の仕方についても考えるいい機会となりました。

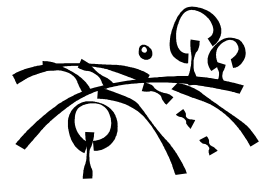


【生徒の感想】

- どんなに嫌なことでも人のために頑張ることで、自分も相手も心が気持ちよくなるということが改めてわかりました。
- いろんな角度からものを見ることで、つらいことも楽しいと思えることがわかりました。
- 自分のやるべきことはどんなことであっても誇りを持って前向きに取り組むことが大切なんだと感じました。
- やって見ないうちから無理とかつらいとか思わず、強い気持ちを持つことで乗り切ることができると思いました。
- 今日の学習で、人が嫌だなと思っている仕事や頑張っていることが人に見てもらえない仕事でも、楽しんでやっている人がいると知ってすごいと思いました。人の嫌がっている仕事でも陰ながら支える仕事でも楽しんでできる人になりたいなと思いました。
- アメリカのカストーディアルのようにどんなことも楽しく考え、つらいことも楽しさに変えれば楽しくなると思いました。私もつらいことは楽しさに変えたいです。
- いやな仕事でも少しやり方を変えるだけで前向きになれることがわかりました。普段の掃除も頑張りたいです。
- 自分だけでなく、ここを使う人の気持ちを思って掃除してみると案外楽しく掃除できるのかなと思いました。
- 誰かのために一生懸命になれる、そしてその仕事を楽しむことができるのはすごいことだと思いました。
- 考え方は人それぞれということがよくわかった。考え方を変えるだけで今まで楽しいとは思えなかったようなことが全然変わって見えるのが、とても素晴らしいことだと思いました。
- 工夫しだいで変わるとわかったので勉強も工夫してみようと思いました。

◇3年生の実践

「道はいつもひらかれている」 A-(3) よりよい自己の追求



本資料は古谷綱武さんの22連からなる詩です。自らの人生を自らの手で切り開いていくためにあるべき心のあり方を述べています。授業では、資料を読んで、印象に残ったり共感できたりする連を選び、理由を書いてもらいました。



【生徒の感想】

- ・道はひらかれているが、それを進んで行ったり閉ざしてしまったりするのは、結局自分次第なのだと改めて感じた。自分でこの詩に続く23連目を考えてみたけれど、そこで考えたことをこれからも進んでやろうと思った。
- ・道は目の前に広がっているのに、何もしないで閉ざしてしまうことは本当にもったいないことだと思う。
- ・これからの人生の中で、つまずいたり挫折したりすることもたくさんあると思うけど、あきらめずに進みたいと思った。
- ・自分の人生や生き方を決めるのは自分自身だから、自分のなりたい将来に行き着くためにも、これからは何事にも一生懸命になりたい。
- ・分かれ道や回り道など、いろんな道があるけれど、今日の前に広がっている道を、自分の足で確実に歩いていくことが大切だと思いました。
- ・自分自身の道を開いていくには、たくさんの努力が必要なのだと思う。自分で積極的に努力を重ねて、よりよい道に進みたいと思った。
- ・今日出てきた詩はたくさんの連でできていたけれど、どれもこれからの生き方における教訓になるようなことばかりだった。まだまだ自分はできていない所も見つけてよかった。
- ・これから進んでいく道は、他人や友達、親に作ってもらうよりも、自分のやりたいことをして築いていく方が楽しいと思う。
- ・友達の意見を聞く中で、歩んでいきたい道、あこがれの道がそれぞれで違うことを改めて知ることができた。でも、みんなに共通することは、最後は自分次第であるということだったので、自分を信じて自分の道を見つけていきたい。

◆保護者の皆様からの声

授業参観ではお忙しい中、道德の授業を参観しての感想やさまざまなご意見をいただき、本当にありがとうございました。感想の一部をご紹介します。

- ◇お友達の発言に、先生もクラスメイトも「おお、なるほど！ そうだね」「素晴らしいね」拍手など、共感を表現しているのがとても優しく、穏やかな学級の様子が見えました。お友達の意見を尊重できること、先生に認められることが、発言した生徒の大きな自信になることなのでしょう。
- ◇「心訓」について考える機会を頂き良かったです。また、子ども達が大切にしていることを知ることができたのも貴重でした。
- ◇当たり前ですが、小学校よりも深い学びに感心しました。子どもの心にしみてくれればと思います。
- ◇最近ネットやゲームの時代となり、人の気持ちを考えることが苦手だったり…が増えてきましたが、道德の授業を通し、色んな人の意見を聞いたり、またそれに対して自分の意見を話すことができたり、とても良い授業だと思いました。
- ◇みんな自分の考えをきちんとまとめたり、発表できていて立派でした。落ち着いた雰囲気の中で授業を受けていたので安心しました。クラスの人数が増えてもまとまっている様子でした。
- ◇とても良い授業でした。今まで掃除をするときは「おそうじは自分のためになるし、その場所を使う人みんなのためにおそうじをがんばろう。」と思ってきました。そして今日の授業を参観して、「楽しんでおそうじをする。」ということを実践していこうと思いました。
- ◇子どもたちにとって、働くこと、生きること、心のモチベーション（生きがい）を挙げることに改めて考えることができました。これからの生活、子育てについてもモチベーションを上げていけるようにしたいです。
- ◇とてもいい詩を題材にされていて素敵だと思いました。今、中学生という悩み多き子どもにとってもいいアドバイスになる詩で、少しでも心に残って、悩んだときにふと思い出してほしい内容でした。自分のことや周りの友人のことなどみんなの意見や考え方が違うことを知ることがいい機会になると思いました。